

# 知っていますか？農業のビジネスモデル

～次世代に農業を残すために必要なこと～

報告者 仮家 誠氏 仮家園芸

TPP（環太平洋経済連携協定）によって、今、日本の農業は、かつてない危機に直面しています。しかし、この平成の黒船に対抗しなければならない日本の農業の現状は、あまりにも脆弱です。例えば米の生産効率。日本の米の総生産量は約 860 万トン、そして米農家の戸数は約 115 万戸。同じ量の米をオーストラリアで生産するのなら、米農家は 100 戸で十分とされているそうです。このように生産効率はもとより、流通のしくみ等他にも問題が多い業界です。

報告者の仮屋氏は学校卒業後を迷うことなく親の家業の花農家を継ぎましたが、自分でやってみて、やはり今のままでは自分の子供に引継がせるのは少し躊躇してしまうそうです。そこで胸をはって継いでほしいと言えるように、新しい農業のあり方を思案中。その思いを語って頂きます。身近で遠い農業ビジネスの話聞いてみませんか？



記

日時	11月24日〔火〕 19:00～21:00 (受付開始 18:30)
会場	美浜町商工会館 (日高郡美浜町和田 1138-278 TEL 0738-22-8193)
参加費	例会：無料 懇親会費：5,000 円程度 (会場は追ってご連絡します)

お申し込みは 和歌山同友会事務局迄

FAX:073-431-4479 TEL:073-422-3782 E-mail: info@wakayama.doyu.jp

氏名 \_\_\_\_\_

会社名 \_\_\_\_\_

11/24	出席	欠席
例会		
懇親会		

◆出欠のお返事は必ず出すように心掛けましょう！